

2015年春闘スタート！

春闘がスタートした。昨年の「官製春闘」でひさしぶりのベアを勝ち取ったがその後の物価上昇で生活は下落する一方だ。今春闘で経団連は「賃金の引き上げを前向きに検討することが強く期待される」と指針を発表した。JR東海も大幅なベアで社員に応えるべきである。また賃上げのみならず、労働条件の改善も同時に進めなければならない。私たちは昨年秋の闘いで「年休問題」を主軸に掲げ年休発給に向けた闘いを作り上げてきた。まだまだ完全消化に向けては程遠い状況だったが、職場の中で他労組との意思の疎通がはかられたことは成果として確認できた。この問題は社員が全員で声を上げていかなければ改善できない問題だ。今春闘でも重要な課題と位置付けて取り組んでいく。さらには労働時間の問題もある。285 キロ運転による時間短縮で労働時間が圧縮され労働密度が濃くなる問題である。のぞみ一本当たり3分縮まれば月トータル1時間近くの時間減となりさらに過酷な行路が作られる恐れがある。この機会に現在の労働時間を詳細に見直す時期と言える。たとえば、出勤時刻から乗務点呼時刻まで準備時間がはたして実測通りといえるのか？退出点呼から訓練時刻までの時間は「行路で訓練を指定されている」のに無給でいいのか？日勤行路では出先で長時間拘束されるが労働外時間とすることは不当な拘束ではないのか？現在の労働時間を見るならば「どうも腑に落ちない」と感じるはずだ。一つひとつ見直し労働条件の改善に立ち上がろう！